

2026年 3月 2日

戸田市共創のまちづくり補助金事業報告書（SDGs応援事業補助）

(宛先)

戸田市長

団体名 Pico22（ピコニャンニャン）

代表者職・氏名 代表 清水真奈美

所在地

事業名	Cat&Art! 2026（保護猫啓発活動）
実施期間	2025年 12月 22日 ～ 2026年 2月 27日

1 事業の具体的内容及びSDGsの成果

<事業の具体的内容>

Cat&Art! 2026（保護猫啓発活動）を下記のとおり実施しました。

開催日：2026年2月15日（日）

時間：11:00-17:00

会場：戸田市文化会館展示室／2F

参加者及びその人数：セミナー参加者約50名

Cat&Art!2026ご来場者：約400名

【PR方法】

- ・パンフレットを作成して地域の方々に配布
- ・Pico22のホームページ、インスタグラム、ブログで告知
- ・参加者のSNSでの周知
- ・公共施設へのチラシの配架
- ・戸田市ボランティア・市民活動支援センターの掲示板などに掲載
- ・Pico22メンバーが個人的に告知

【実施体制】

- ・Pico22（ピコニャンニャン）会員12人
- ・ボランティア 3人（友人）
- ・ボランティア約100人（アートの展示、ワークショップ、発表）

【内容】 時間 13:15～14:45

- ①獣医師によるセミナー 講師：矢作聡志先生（ワラビー動物病院）
- ②獣医師への質問：教えて矢作先生
- ③保護猫の写真とポスターの展示
- ④トルコエブルアート ※トルコは世界一猫に優しい国と言われている。
- ⑤猫のアートのワークショップ、似顔絵、販売
- ⑥どうぶつ基金で作られた絵本の配布とポスターの展示
- ⑦Pico22の団体パンフレットの配布
- ⑧募金箱の設置 ※募金先：桜ライン311（陸前高田市の桜の植樹団体）
- ⑨子供達による絵画コーナ

・協賛

協賛物資のチョコレートのプレゼント

協賛企業：株式会社ロッテ

協賛数量：200個（コアラのマーチ）

<SDGsの成果>

SDGsの該当ゴール

SDGs15 陸の豊かさを守ろう

SDGs17 パートナーシップで目標を達成しよう

本事業は、2026年2月15日に戸田市文化会館展示室にて開催し、来場者約400名の参加のもと実施しました。人と動物、自然環境の共生をテーマに、SDGs15「陸の豊かさを守ろう」およびSDGs17「パートナーシップで目標を達成しよう」の推進に取り組み、市民参加型の啓発活動を展開しました。

<SDGs15 陸の豊かさを守ろう>

獣医師によるセミナー（参加約50名）および相談・質問コーナーを実施し、動物の適正飼養や保護猫の現状、命の大切さについて専門的な啓発を行いました。多数の質問が寄せられ、市民の動物福祉および生物多様性保全への関心向上につながりました。

また、会場内に募金箱を設置し、東日本大震災被災地支援として、岩手県陸前高田市で津波到達地点への植樹活動を行う「桜ライン311」へ27,910円を寄附しました。

さらに、子どもたち「桜と猫」をテーマに絵画制作に参加し、森林再生や自然との共生、命の尊さを学ぶ環境教育の機会を創出しました。

<SDG s 17 パートナリーシップで目標を達成しよう>

地元アーティスト・作家15名の協力を得て開催し、文化芸術と社会課題を結びつけた地域連携型事業を実現しました。加えて、ボランティア約100名が運営に参画し、市民協働による持続可能な事業運営体制を構築しました。

また、ロッテより来場者向けチョコレートの協賛をいただき、企業との連携も推進しました。事業の様子は、JCOM「ジモトトピックス」にて放送予定であり、地域メディアを通じて広く市民へ発信されます。

本事業は、専門家、文化関係者、企業、ボランティア、支援団体、メディアが連携する多主体協働型の取組として、地域における環境意識の向上と協働ネットワークの形成に寄与しました。

獣医師の先生とご参加の皆様が交流する様子もあり、市外の保護猫団体からの来場者もあり、啓発活動の取り組み方などを話す機会になりました。

2 事業実施のスケジュール

月日	内 容
10月7日	Pico22ミーティング
11月6日	関係者ミーティング
11月21日	会場予約・下見
12月8日	関係者ミーティング
1月22日	チラシ配架
2月11日	戸田市文化会館周辺に周知
2月12日	Pico22事前資料作成及び準備
2月14日	戸田市文化会館展示室前日設営
2月15日	Cat&Art! 2026 (保護猫啓発活動)

3 事業の実施体制

Cat&Art! 2025 (保護猫の啓発活動)

①保護猫の啓発活動 (陸のいのちを守る)

- ・矢作聡志獣医師によるセミナー (60分) テーマ「犬や猫の病気について」ご参加の皆さんが真剣に聞き入っていました。
満席は50名でしたが、立見の方や入れ替えもありました。
- ・教えて矢作先生 (30分) 参加者より、矢作先生への質問コーナー
多くの質問がありました。

②猫の写真展示

- ・譲渡して家猫になった写真のアルバムにより活動の尊さを伝えました。
- ・Pico22のパンフレットで野良猫が保護猫になり家猫の幸せを掴むまでの道のりを伝えました。

③アートのワークショップ

- ・トルコエブルアート (1名)
- ・猫のアートのワークショップ、販売 (8名)
- ・似顔絵 (1名) 動物の写真による似顔絵が大人気でした。
- ・どうぶつ基金ポスターの展示: 5枚 展示室の壁に貼りました。
- ・子供たちによる「桜と猫」の絵画コーナーを設けました。
子供たちが自由に「桜と猫」の絵を描いた作品が素晴らしかったです。
- ・福祉や防災を伝える「桜ライン311」のパンフレットを配布しました

4 反省点と課題

本事業は多くの市民参加のもと実施できましたが、さらなる発展に向けた課題も認識しております。今回は市環境部局のご来場をいただきましたが、今後はより一層官民連携を深め、市と協働した啓発事業として展開することを目指してまいります。行政施策と連動した取組とすることで、市内全体への波及効果の拡大が期待されます。

また、小学生の参加は多く見られましたが、中学生・高校生世代への啓発は今後の課題であると考えております。教育機関との連携も視野に入れ、次世代を担う若年層への環境教育・動物福祉教育の充実を図ってまいります。

本事業に際し、市長をはじめ関係部局の皆様にご臨席いただきましたことに深く感謝申し上げます。今後も本市と連携しながら、動物福祉と環境保全の啓発を通じて、市民が誇りを持てる持続可能なまちづくりに貢献してまいります。

《収支報告書》

【収入】 (円)

科目		予算額 ①	収入額 ②	比較 (②-①)	内訳
補助 金・ 助成金	当補助金	50,000	50,000	0	
	その他				
自己資金		120,000	96,484	-23,516	
会費 (参加費等)					
利用者負担金 (売上等)					
協賛金・寄附					
合計		170,000	146,484	-23,516	

	科目	予算額 ①	支出額 ②	不用額 (①-②)	内訳
補助 対象 経費	委託費	55,000	55,000	0	チラシデザイン委託費
	謝礼金	10,000	11,232	-1,232	講師への謝礼 (お菓子等)
	消耗品費	5,000	0	5,000	
	小計	70,000	66,232	3,768	※支出額内訳 補助金充当額 : 50,000 自主財源 : 16,232
補助 対象 外 経費	印刷製本費	15,000	7,080	7,920	プリントパック (3,000 枚)
	使用料	85,000	67,075	17,925	戸田市文化会館展示室 (27,115 円+39,960 円)
	小計	100,000	74,155	25,845	
合計		170,000	140,387	29,613	

